

## 訂 正

本文内の内容について誤りがございました。  
以下の通り変更させていただき、謹んでお詫び申し上げます。

誤) 西将太騎手は本レース初制覇

→ 正) 西将太騎手はジェイカトレア号で制した2019年に続く本レース2勝目

## お 知 ら せ

2026年2月15日  
帯広市

## 2月15日(日)「第51回黒ユリ賞」(BG2)の結果 ～世代女王の座は重賞初挑戦のコトブキラベンダー号が輝く～

2026年2月15日(日)に行われた「第51回黒ユリ賞」(3歳牝馬オープン・BG2)は、ゴール前で懸命に脚を伸ばしたコトブキラベンダー号が嬉しい重賞初制覇を飾りました。

馬場水分1.9%、レース直前から雪がちらつくなか行われた本レース。スタートから勢いよく飛び出し、ほぼ横一線のまま第一障害を駆け抜けます。道中はジェイノホマレ号が先行し、差なくヤマノブラウン号、クリスタルアッシュ号、カワノラクシュミー号が追走。5番手以下はそれを見る形でややばらけた展開で進んでいきます。中間点を過ぎたあと各馬息を入れながら慎重に進みますが、先頭のジェイノホマレ号が果敢に先行し、集団から抜け出したところで第二障害下に到達します。

全馬第二障害下に到達する前に十分に息を入れたジェイノホマレ号が登坂を開始。続いてヤマノブラウン号が挑戦しますが、両馬とも天板付近で止まり苦しい展開に。それを横目にコトブキラベンダー号がすんなりと障害を上がり、立て直したジェイノホマレ号とほぼ同時に障害をクリアします。

下りた勢いでジェイノホマレ号が先頭に立ちますが、残り30m手前で脚が止まり、コトブキラベンダー号が一気にかわすと、懸命に脚を伸ばします。後続も苦しくなる展開のなか、ゴール手前でコトブキラベンダー号の脚が一旦止まるもののすぐに体勢を立て直して先頭でゴール。重賞初挑戦で見事世代女王の座に輝きました。

2着には障害7番手から追い込んだフェスタクイーン号が、3着にはヤマノブラウン号が入りました。

コトブキラベンダー号を管理する平田義弘調教師はホクセイヒラリ号で制した昨年に続く「黒ユリ賞」2連覇となり3度目の勝利、騎乗した西将太騎手はジェイカトレア号で制した2019年に続く本レース2勝目となりました。

## 記

<コトブキラベンダー号のプロフィール> ※2026年2月15日現在

生年月日・毛色：2023年4月27日(牝3歳・青毛)

血統：父 ホンベツイチバン 母 シャープ (母父) シズユタカ

生産者：竹久 克明氏

馬主：竹久 克明氏

厩舎：平田 義弘厩舎

通算成績：10戦6勝(うち重賞1勝)



#### 【平田義弘調教師のコメント】

勝つことができ嬉しいです。馬場が軽く、勝てるかどうかという気持ちはありました。

馬の体調は良く、西騎手がかなり早い段階からこのレースを狙っていたので、それに合った調教をしていました。

平場のレースでは、負荷をかけずに調教していましたが、このレースに向けては重量を重くしながら特訓していました。

ペースは速く感じましたが瞬発力がある馬なのでハナでは負けないとは思っていました。

展開は騎手がわかっているので安心してみてもらいました。

今年は良い牝馬がたくさんいて大変でしたが、それでもゴールまでよく耐えて頑張ってくれました。

能力のある馬なので、今後に向けてもっと大事に使っていきたいと思っています。

コトブキラベンダーと一緒に一生懸命に調教して、これからも未来が楽しみになるように頑張りますので、よろしくをお願いします。

#### 【西将太騎手のコメント】

嬉しいです。

このレースに向けてたくさんトレーニングをしてきたので重量的には大丈夫だと思っていました。

馬の調子も今日は最高でした。

馬場は少し重めでしたが、この馬にはちょうど良かったと思います。

展開的にもいつも通りのレースを心掛けていたので、障害もしっかり上がってくれましたし、ゴール前は結構苦しかったと思いますが、最後まで頑張ってくれました。

この馬の良さは障害力と、辛抱して最後まで歩ききってくれるところです。

これからも頑張ります。よろしくをお願いします。

以上

<報道関係者 各位>

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ぜひ取材についてご検討の程よろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら以下までご連絡ください。

ばんえい十勝 広報担当 藤田・中村・高尾

〔電話〕帯広競馬場 0155-34-0825(代)

※火・水曜除く9:30~18:15 薄暮開催日(土・日・月) 11:00~19:00

〔ばんえい十勝公式ホームページ〕 <https://www.banei-keiba.or.jp/>